

ハッピースマイル3月宿泊活動

～聞こう！話そう！楽しもう！！～

3月19日（土）～3月20日（日）

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション	キャンプファイア
2日目	棒焼きパン、思い出工作	施設を出発・解散	

一日目： 天候はあいにくの雨模様でしたが、みんなの楽しみがヒシヒシと伝わってくるほどテンションが上がっておられました。各集合場所から長い移動を経て竹田駅に到着しました。ここで全員が揃い、挨拶を済ませ、グループ分けを行いました。今回のグループリーダーは“指名制”を取っており、メンバーからプログラムごとにリーダーを選んでもらいます。初めのプログラムとして施設までハイキングを行いますので、一緒に同行するリーダーを決めてもらいました。最寄り駅から40～50分ほどかかりますが、元気いっぱいのメンバーにとって、これも楽しさの一つであり、和気あいあいと向かいました。施設に到着次第、昼食を済ませました。ここまで来るまでに仲良くなる時間は十分あったので、とても賑やかで楽しそうでした。午後からはレクリエーション大会です。フラフープを使ったリレーや王さんとりをしました。初めは個人個人で楽しんでいる様子でしたが、徐々にいつものハピスマらしさが伺え、話し合っている様子や、作戦を立てている様子、手こずっている友達を助けている様子などが見られました。生活棟に行き、施設の使い方や準備の説明を聞き、その後は食堂にて夕食を済ませました。食事中も楽しそうな話が絶えませんでした。夜はキャンプファイアを行いました。リーダーが用意したレクリエーションを心から楽しそうに踊ったり、歌ったりされ、この時間を存分に堪能されていました。寒さを忘れるほど、誰もが夢中になっていました。



二日目： 朝早くからドタバタと部屋から準備の音が聞こえてきました。起きて間もなく、シーツを片付けたり、荷出しの準備をしたり忙しいでしたが、自然と手助けし、協力しあい、思った以上に早く済ませることができました。朝食は「棒焼きパン」です。自分達で生地を棒に巻き付け、炭火で焼きました。初めはなかなか変化がありませんでしたが、熱が伝わり、色付き、匂いがしてくると、笑顔も増え、「美味しそう」、「早く食べたい！」と声が上がっていました。焼けたパンをちぎりながら食べる方やそのままかぶりつく方もおられました。朝食後は施設の清掃を終わらせ、最後のプログラム、思い出工作です。今回は『2015年度に行ったハピスマのプログラム』を自然のみを使って表現してもらいました。ブルーシートの上に置くだけなので、風が吹くと軽いものは飛んでしまいます。そうならないように対策として石を置き風で飛ばされないようにしたり、みんなで囲い風を遮ったり、各グループ工夫されていました。内容を決める際に“みんなが参加したプログラム”と条件を加えたので、全10回を振り返られていました。そこから1つのプログラムを決め、何が必要か、どう表現すれば分かりやすいかを話し合っておられました。完成した作品はどのグループも個性と工夫が詰まっていた。昼食を済ませ、閉校式と皆勤の方への表彰式を行いました。みんなの前で皆勤として名前を呼ばれるので、呼ばれたメンバーは皆とても誇らしげにされ、それを見ているメンバーはとても羨ましそうにされており、同時に「来年は…！」と意気込みも聞こえてきました。あつという間の二日間、帰りの長旅ではさすがに疲れの色が見えていましたが、それでも終始楽しい雰囲気にも包まれており、笑顔いっぱい終わらせる事が出来ました。



<キャンプ総括>

今回のハピスマキャンプはタイトル通り、みんなで沢山話して、聞いて、その結果楽しんでもらえるよう、活動を展開しました。日帰り活動でも嫌というほど、「話し合いとは何だろう?」、「相手の意見に耳を貸そう。」と訴えてきました。すると、メンバーの意識も何か始まると、すぐに集まり、物事を決めようとされる様子が伺えました。これはとても大きな成長だと考えています。上のお兄さん、お姉さんが率先して行うので、まだ不慣れな低学年メンバーもついて行き、意見を言われたり、自身の意思で決定されたりしています。非常に良い方向に進んでいるとこのキャンプを通して感じました。意見をみんな比較的言う事ができるようになってきましたが、誰かの意見を“尊重し聞き入れる”ことがまだ不十分にも思えます。これを今後のテーマに盛り込んで、2016年度も楽しんで、活動を行っていきます。2015年度、沢山ご参加いただき誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。（竹中 哲郎）